

個人 1

受 令和 3年 6月 1日  
付 午前・午後 9時00分

一般質問（代表・個人） 通告書

令和3年 6月 1日

尾張旭市議会議長 殿

氏 名 市原 誠二

尾張旭市議会会議規則第50条第1項の規定により 6月定例会において別紙  
のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 4 件

2 質問方法

	1回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項（大項目）ごとに一問一答
<input checked="" type="radio"/>	1回目から 質問事項（大項目）ごとに一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質問事項 No. <u>1</u>	新型コロナウイルスワクチン接種について
要 旨	<p>新型コロナウイルスワクチン接種の状況及び、今後の全世代が対象となった場合の対応方法について、以下3点について答弁を求めます。</p> <p>(1) 現在のワクチン接種の状況について</p> <p>(2) ワクチン接種キャンセル発生時の対応について</p> <p>(3) ワクチン接種が全世代対象となった場合の対応について</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. 2	ターゲットを絞ったシティプロモーションについて
要 旨	<p>多くの自治体が宣伝、広報、営業活動（いわゆるシティプロモーション）に取り組んでいます。当市においては、市民向けに「広報おわりあさひ」、市民以外に対しては、ケーブルテレビ、ポスター等を用いた広報が行われています。</p> <p>自治体の知名度は、急激な人口減少・高齢社会の中、自治体の存続を図るためには、重要な要素となります。つまり、関係人口を増やす、自治体間連携でパートナーとなる、住まいを探す、民間が事業を起こす場所を探す、優秀な職員を採用するうえにおいて、尾張旭市の存在を知っておいていただかないと始まりません。</p> <p>そこで、以下3点について答弁を求めます。</p> <p>(1) 当市の考えるシティプロモーションの目的について</p> <p>(2) これまでのシティプロモーションの成果と課題について</p> <p>(3) ターゲットを絞ったシティプロモーションについて</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. 3	市内中小事業者と大学等との連携促進について
要 旨	<p>コロナ禍をきっかけとし、事業環境が大きく変化している市内の中小事業者の新事業の立ち上げや新製品開発の後押しをすることは、結果として税収の維持拡大や雇用の維持創出につながります。</p> <p>また、事業の立ち上げや開発は、素早い対応が必要であり、そこに新たな人材の確保や、開発支援体制が課題となります。そこで、市が産学連携もしくは企業同士の連携を経費面で支援することで、これら課題解決の一助になりうると考えます。連携支援について答弁を求めます。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質 問 事 項 No. 4	フードドライブの通年実施について
要 旨	<p>フードドライブとは、家庭や事業所の余剰食品をフードバンクや地域の福祉施設などに寄贈する活動です。</p> <p>このコロナ禍の中、フードバンクの需要がますます高まっております。報道によれば寄贈される量以上のニーズがあり、このままでは、食品が不足する事態も想定されている状況とのことです。</p> <p>これまで市では、社会福祉協議会等を通じて、フードドライブを年に数回程度実施しており、一定程度の成果を上げていますが、必要性は高まるばかりです。</p> <p>そこで、以下2点について答弁を求めます。</p> <p>(1) 更なる支援に向けたフードドライブの通年実施について</p> <p>(2) 食品ロス撲滅につながるフードドライブの積極的な活用について</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。